

歯科材料03 義歯床材料
管理医療機器 義歯床用アクリル系レジン 70824000
ポリベースⅡ

【警告】

本材の液及び混和物が皮膚に接触しないこと。また、単量体（モノマー蒸気）を吸入しないこと。

【禁忌・禁止】

本材又はメタクリレート系モノマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

本材は下記成分より構成される。

構成品	性状	成分
粉末	粉末	ポリメチルメタクリレート、着色材
液	液体	メチルメタクリレート、第三級アミン、その他
接着材	液体	ポリメチルメタクリレート、メチルメタクリレート

** 原理：粉末と液を混和することにより、常温で重合硬化する。

【使用目的又は効果】

** 常温重合による、流し込み型の義歯床製作に用いる。

**** 【使用方法等】**

主な使用方法	主な適応症例	備考
シリコンコア法	・欠損の少ない義歯床 ・複雑な維持装置を用いた義歯床	なし
石こう埋没法	・欠損の多い義歯床 ・全部床義歯	症例により ブロックアウトが必要

使用方法 1. シリコンコア法

- ①ロウ義歯の製作
通法に従いロウ義歯を製作します。
- ②スプルー・ベントの植立
ロウ義歯に直径約 8 mm のスプルーと症例に応じて、直径約 6 mm のベントを注入する方向に植立します。症例に応じて、補助ベントを植立してください。
- ③シリコンコアの製作
付加型シリコンパテをまるめ、咬合面より気泡が入らないように一方向に圧接します。
- ④流ロウ
硬化後、60～70℃の温水に約4～5分間つけた後、コアを注意深く外します。その後、コア、模型、人工歯やクラスプなどに付着しているワックスを熱湯でよく流してください。
- ⑤模型の吸水
模型を水に15～20分間つけ吸水させます。
- ⑥人工歯の固定と接着処理
人工歯をコアの元の位置に戻して瞬間接着剤などで固定し、綿球などを用いて人工歯基底面にポリベース接着材 P を塗布します。
- ⑦レジン分離材の塗布
模型表面の水分をエアで軽く除去後、粘膜面にレジン分離材を均一に塗布します。
- ⑧維持装置の固定
維持装置やメタルフレームを模型の元の位置に戻し、瞬間接着剤か、同色の常温重合レジン少量を用いて固定します。
- ⑨シリコンコア装着
③で製作したコアを模型に装着し、瞬間接着剤を用いて固定します。
- ⑩粉液の計量・混和
液を液計量器で、6.5mL 計量し、混和容器に入れます。次に粉末を粉計量スプーンすり切り1杯計量し、混和容器に入れます。パイプレーターに当て、脱泡しながら約10秒間スパチュラで混和します。（標準粉液比＝粉材10g：液材6.0mL）
- ⑪レジンの注入
スラリー状になったレジンコアを少し傾けながら気泡が入らないよう、スプルー部から途切れないように少しずつゆっくりとベント部から溢れでてくるまで注入します。

⑫重合

レジンの流動性がなくなり、カップに残ったレジンがモチ状になれば（混和開始より約12分/23℃）、あらかじめ50℃に加熱した温水の入った湿式加圧重合器に入れ、1.5kg/cm²（0.147MPa）以上の加圧下で20分間重合します。重合後、模型を取り出し室温まで徐冷します。

⑬義歯の取り出し

無理な力が加わらないようコアのスプルー下部などに切れ込みを入れ、コアから慎重に取り外してください。

⑭研磨・完成

スプルーをカットして、通法に従い研磨し完成です。

使用方法 2. 石こう埋没法

①ロウ義歯の製作・1 次埋没

フラスコ後縁とロウ義歯模型後縁に傾きをつけてフラスコ下輪に埋没します。

②スプルーとベントの植立

スプルー（短め）とベント（長め）を植立します。その後、レジン分離材を石こう面に薄く塗布します。

③2 次埋没

ロウ義歯表面にワックスパターン清掃材を薄く噴霧し、人工歯が完全に隠れる（石こうの厚みは15mm程度）まで気泡が入らないようゆっくりと、2 次埋没用石こうを流し込みます。

④流ロウ

石こう硬化後、80～90℃の熱湯に約10分間つけ、注意深くフラスコを開輪し、通法に従い流ロウします。

⑤スプルー・ベントへの露出

石こう型が壊れないよう注意深くフラスコから取り外し、スプルー先端部分が露出するようにトリマーなどで後縁部を削除してください。その後スプルー・ベントの口をデザインナイフなどを用いて広げてください。

⑥石こう型の吸水

石こう型を水に15～20分間つけ吸水させます。

⑦レジン分離材の塗布

石こう表面の水分をエアで軽く除去後、粘膜面にレジン分離材を均一に塗布します。

⑧人工歯の接着処理

人工歯を石こう型に戻して固定し、綿球などを用いて人工歯基底面に接着材を塗布します。

⑨石こう型の固定

位置関係に狂いがないように上下の石こう型を合わせ、瞬間接着剤、ゴムバンドなどを用いて上下の石こう型を固定します。

⑩粉液の計量・混和

液を液計量器で、6.5mL 計量し、混和容器に入れます。次に粉末を粉計量スプーンすり切り1杯計量し、混和容器に入れます。パイプレーターに当て、脱泡しながら約10秒間スパチュラで混和します。（標準粉液比＝粉材10g：液材6.0mL）

⑪レジンの注入

スラリー状になったレジン石こう型のスプルー部から途切れないよう、少しずつゆっくりとベント部から溢れでてくるまで流し込みます。

⑫重合

レジンの流動性がなくなり、カップに残ったレジンがモチ状になれば（混和開始より約12分/23℃）、あらかじめ50℃に加熱した温水の入った湿式加圧重合器に入れ、1.5kg/cm²（0.147MPa）以上の加圧下で20分間重合します。重合後、模型を取り出し室温まで徐冷します。

⑬義歯の取り出し

無理な力が加わらないよう、石こう型から義歯を慎重に取り出してください。

⑭研磨・完成

スプルーをカットし、通法に従い研磨し完成です。

〔使用方法に関連する使用上の注意〕

- 1) 重合した義歯床は、口腔内に装着するまで水中に保存し、残留モノマーを溶出させること。
- 2) 本材の液及び接着材は揮発性であるため、使用後はすぐに容器の蓋を締めること。
- 3) 本材と併用して使用する歯科材料、機械及び器具に関しては、それぞれ該当する電子添文等に記載の使用方法及び使用上の注意事項を遵守すること。
- 4) 陶歯を使用する場合は、適切な維持装置又は維持孔が設けられていることを確認すること。スルフォン樹脂製レジン歯を使用する場合は、維持孔の付与、レジン歯指定の接着材塗布など、各々の電子添文等に従って使用すること。

【使用上の注意】

- 1) 使用注意
 - ①本材の粉末、液及びその混和物は直接素手で触れないこと。本材が手指又は器具に付着した場合には、直ちにアルコールで拭き取ること。
 - ②本材は可燃性なので、火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。また、テーブル、床上などにこぼした場合には、すぐに乾いた布でよく拭き取ること。
 - ③本材の使用場所には消火装置を備えること。
 - ④本材を使用する際には、適切な換気（1時間当たり数回の換気）がなされている場所で使用すること。
 - ⑤他のレジン粉末、液と混用しないこと。
- 2) 重要な基本的注意
 - ①本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、かぶれ、しびれ等の過敏症状が現れた患者又は術者においては、ただちに使用を中止し、専門医の診断を受けさせるか、又は受けること。
 - ②本材に対して発疹、皮膚炎などの過敏症のある術者は、手袋などを用いて直接本材に触れないようにすること。また、本材の使用により過敏症状を起こした場合には、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。本材を使用する際には必ず医療用（歯科用）手袋及び保護メガネ等を着用し、皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。なお、医療用（歯科用）手袋は本材の直接的接触を防ぐが、一部の有機溶媒・モノマーが短時間のうちに浸透することが知られているので液及び液混和物が付着した場合には、直ちに手袋を捨て、石鹸を使用して流水で洗浄すること。
 - ③本材が万一目に入った場合には、すぐに多量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けること。
- 3) 不具合・有害事象
本材の使用に伴い、発赤、びらん、水疱、浮腫などの過敏症状が発生することがあります。

【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

- ・本材は、高温、多湿、直射日光を避けて、火気厳禁の室温で保管すること。また、1つの保管庫に大量に保管しないこと。
- ・保管場所には、消火器具を備えること。
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

〔使用期限〕

本材は容器に記載の使用期限までに使用すること。
〔記載の使用期限は、自己認証（当社データ）による。〕
記載方法： 0000-00は
使用期限 0000年00月を示す

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：株式会社ニッシン
住所：〒621-0001
：京都府亀岡市旭町樋ノ口88
ホームページ：www.nissin-dental.jp